

一貫教育校の広場

Make your own colours

●横浜初等部 教諭

さいとうひでひこ
齋藤秀彦

横浜初等部は、2023年4月に開校から10周年を迎えました。そこで初等部では、初めの10年を次の10年の始まりと捉え、10周年を祝うとともに、さまざまな取り組みを進めていくきっかけにしようと考えています。

に進学した5期生の作品が選ばれました。新年度からは、6期6年生が実行委員会を立ち上げ、生徒を中心に、初等部の10周年、そして未来に向けてできることを企画し、実行していきます。6月には、関係者向けと生徒向けの2日に分けて、記念式典を開催します。そこでは林望さん作詩、上田真樹さん作曲の初等部の新しい歌が初等部生の歌声で披露され、シンボルマークをあしらった記念品とともに、美しい写真に大人と子ども（卒業生、在校生）の2つの視点でつづられた文を織り交ぜた記念誌を配布する予定です。記念歌と記念誌のどちらも、過去を振り返りつつ、初等部の未来を見据えたメッセージを含んだものになっています。



10周年記念シンボルマーク

昨秋、全専任教員が集まって、開校からの10年を振り返りつつ、これからの10年に向けて初等部のあるべき姿を話し合いました。そこで挙がったものは、例えば「やさしい心を持ち、ありがとうが飛び交う学校にしたい」「グラウンドにそびえる楠のように、生徒たちがすくすくと大きく育つ学校にしたい」など、どれもが初等部をそのような学校にしていきたいと思わせるものばかりでした。その内容をもとに、教員が初等部のこれからの10年に向けたスローガンに選んだ言葉が、**Make your own colours**です。この言葉には、「自分の色をいくつもつくっていい。色は、人と比べるためでなく、共に彩るために使うもの。みんなの色で、色とりどりの世界を創っていいこう!」という意味が込められています。さらにスローガン**Make your own colours**に合ったシンボルマークのデザインを初等部に募集したところ、221件の応募があり、多彩な作品の中から、この4月に湘南藤沢中等部



職員、さらには保護者の皆さまの進むべき方向を指し示す羅針盤となり、迷ったときに立ち返ることのできるものになりたいと思っています。